

## 資料 2

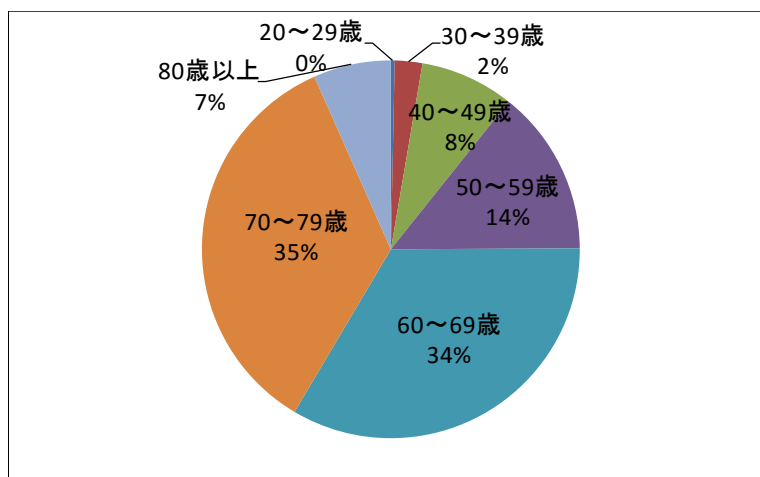
## 千葉県がん対策に関するアンケート調査結果

## 1. 県内のがん診療連携拠点病院等又は千葉県がん診療連携協力病院を利用するがん患者

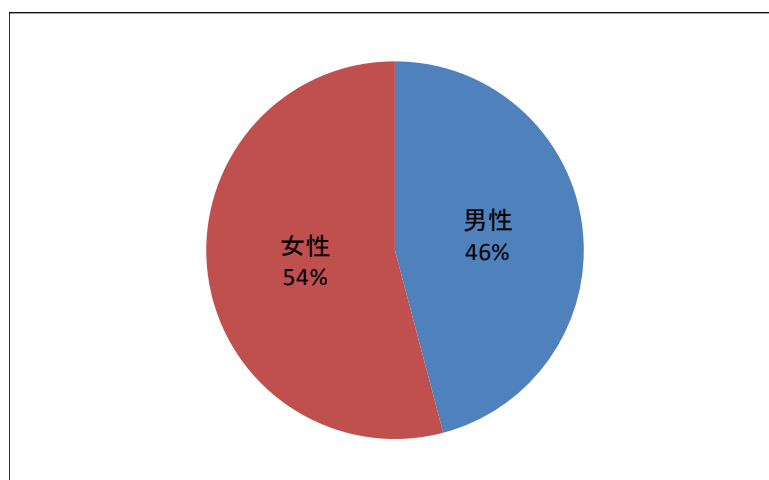
- 1) 調査対象 県内のがん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院を利用するがん患者 2, 350人  
(がん診療連携拠点病院等 100人、千葉県がん診療連携協力病院 50人配布)
- 2) 調査時期 平成 29 年 10 月～ 11 月
- 3) 調査方法 病院より説明・配布のち、郵送等による回答
- 4) 回答状況 配布数 2, 350 人のうち 640 人が回答 (回答率 27. 2%)  
うち有効回答数 634 人 (27. 0%)
- 5) 調査項目
- 問 1 年齢 (1つ選択)
- 問 2 性別 (いずれか選択)
- 問 3 居住地域 (1つ選択)
- 問 4 医療機関のかかり方 (1つ選択)
- 問 5 がんと診断された満年齢
- 問 6 診断されたがんの種類 (いくつでも)
- 問 7 発見状況 (1つ選択)
- 問 8 これまで受けた治療 (いくつでも)
- 問 9 医療関係者からの病気や治療の話について (1つ選択)
- 問 10 セカンド・オピニオンについて (1つ選択)
- 問 11 セカンド・オピニオンの必要性 (1つ選択)
- 問 12 定期的な検査のための通院先の選択について (1つ選択)
- 問 13 「緩和ケア」について (いくつでも)
- 問 14 緩和ケアの受療状況 (1つ選択)
- 問 15 がんを治すことが難しくなった時の療養方法等について (1つ選択)
- 問 16 最後を迎えたい場所について (1つ選択)
- 問 17 在宅サービスの充実 (3つ選択)
- 問 18 がんの診断や治療の悩み (3つ選択)
- 問 19 がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター利用について (1つ選択)
- 問 20 情報収集先 (いくつでも)
- 問 21 がん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」について (1つ選択)
- 問 22 診断時の職業 (1つ選択)
- 問 23 現在の職場 (1つ選択)
- 問 24 事業主の理解・支援 (1つ選択)
- 問 25 就労に関する相談先 (いくつでも)
- 問 26 がん検診 (1つ選択)

- 問 27 がん検診を受診するためのサービス等（いくつでも）
- 問 28 がん検診受診率向上に向けた取組で知っているもの（いくつでも）
- 問 29 がん教育について（いくつでも）
- 問 30-1 全国がん登録について（1つ選択）
- 問 30-2 全国がん登録に期待するもの（いくつでも）
- 問 31 がん対策について（いくつでも）

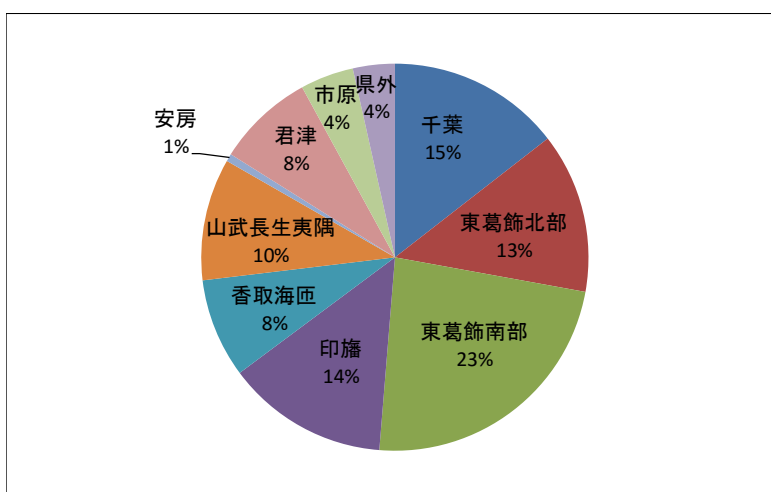
## 問 1 現在の満年齢



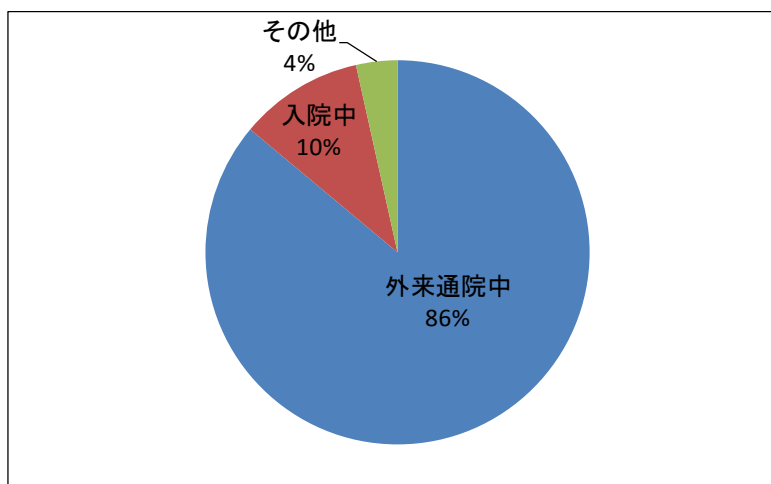
## 問 2 性別



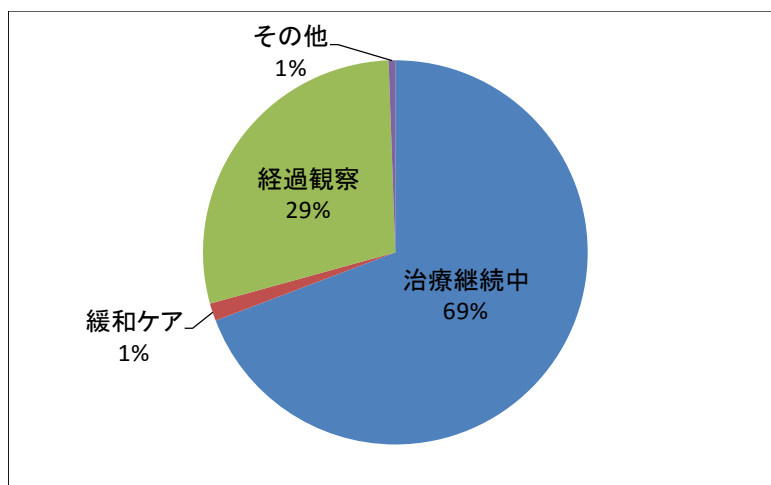
## 問 3 現住所（二次医療圏別）



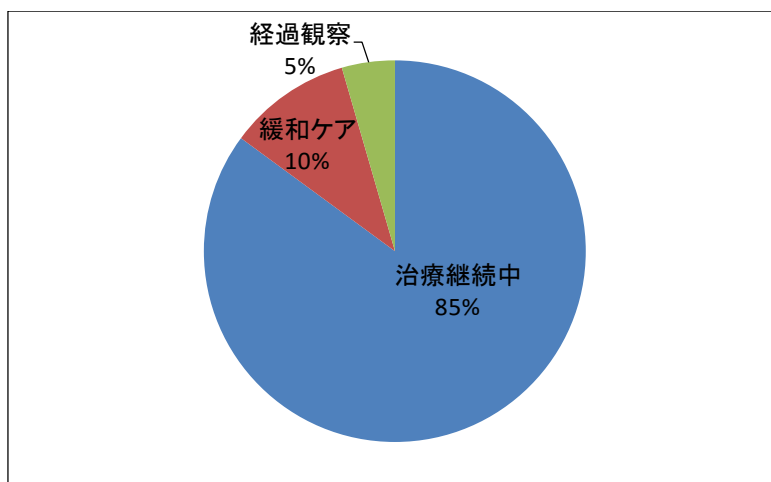
問 4-1 (このアンケートを受け取った) 医療機関のかかり方は何ですか。(1つだけ)



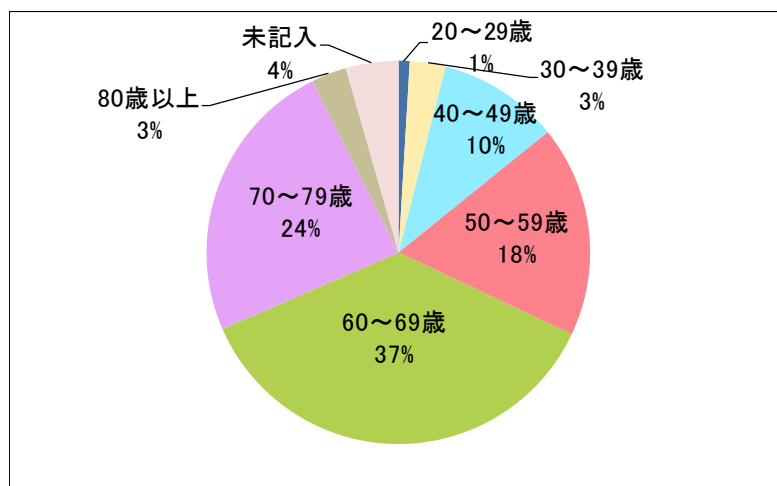
問 4-2 問 4-1 で「外来通院中」と答えた方に質問します。現在のがんの治療状況は何ですか。(1つだけ)



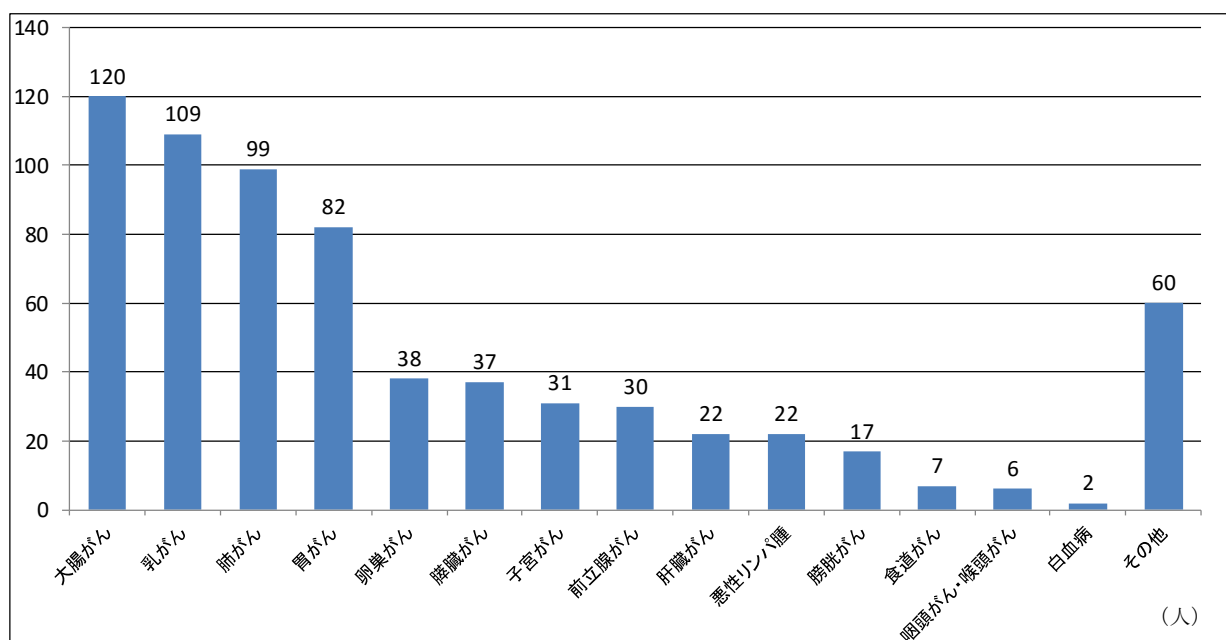
問 4-3 問 4-1 で「入院中」と答えた方に質問します。現在のがんの治療状況は何ですか。(1つだけ)



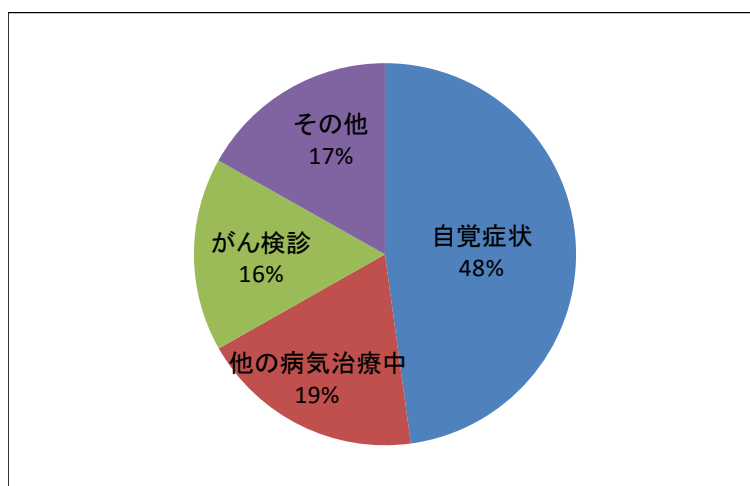
問5 がんと診断された満年齢



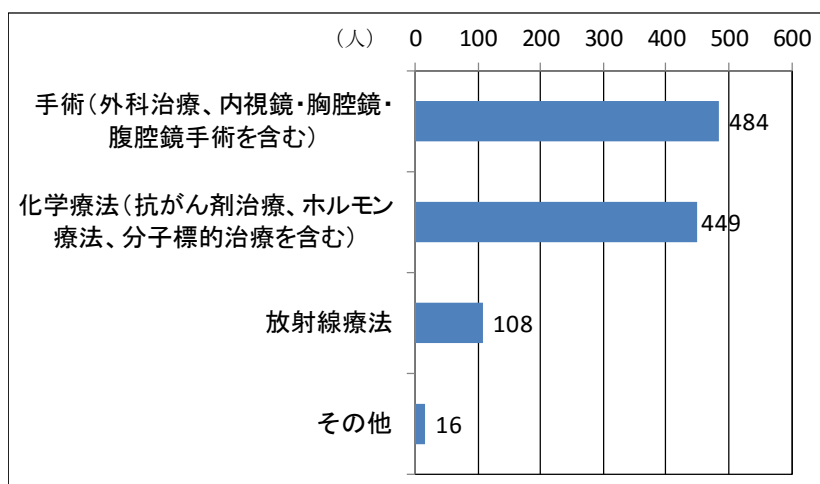
問6 最初に診断されたがんの種類は何ですか。(いくつでも)



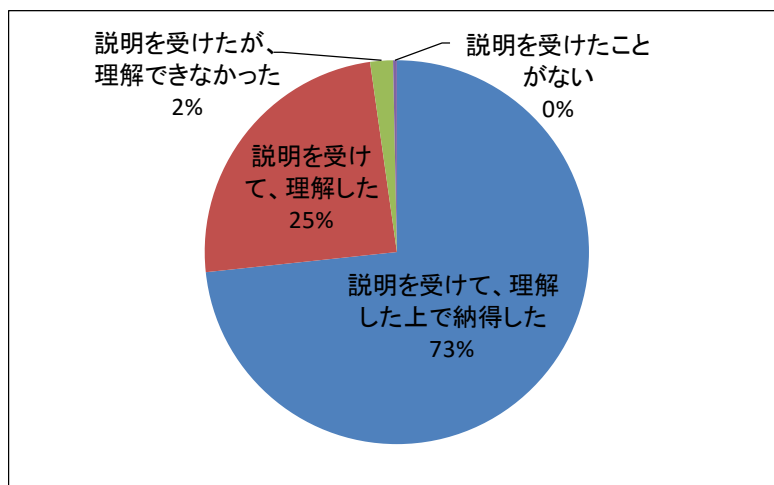
問7 最初に診断されたがんは、どのような状況で発見されたのですか。(1つだけ)



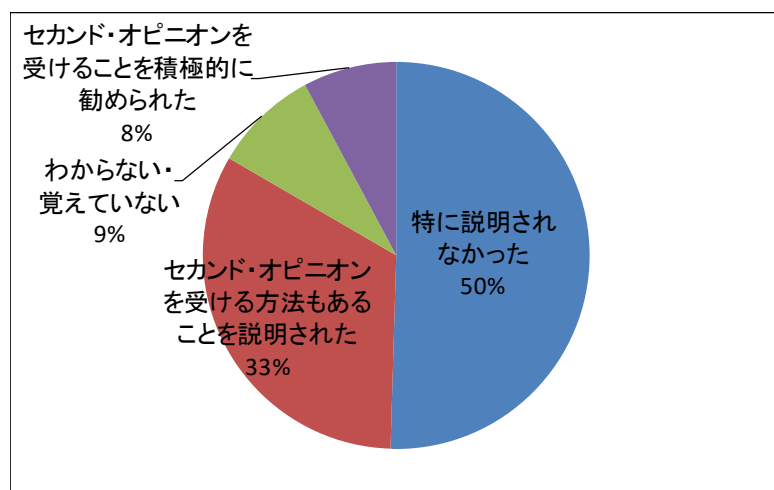
問8 これまでに受けた治療は何ですか。(いくつでも)



問9 がん治療を受けるにあたって、医療関係者から病気や治療について話を聞きましたか。(1つだけ)



問10 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」(資料参照)について、どのように説明されましたか。(1つだけ)

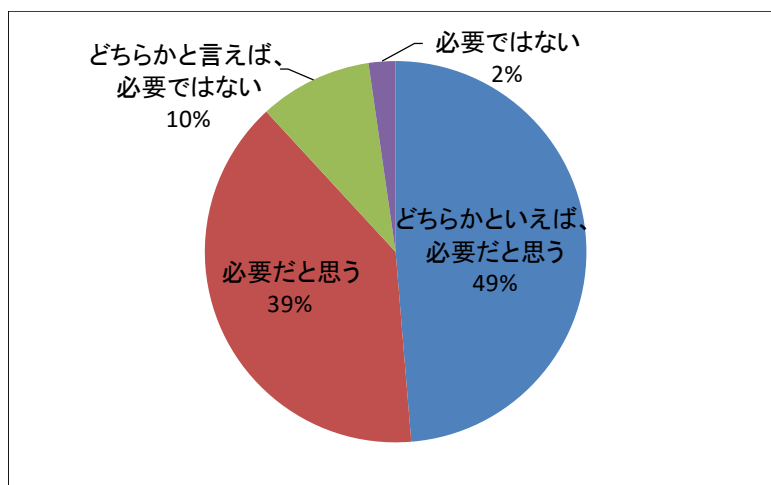


(資料) セカンド・オピニオンとは

○よりよい決定をするために、もう一人の人から聴取する意見。医療の分野では、一人の医師の意見だけを聞いて決めてしまわずに、別の医師の意見も聞いて患者が治療法などを決めることを指す。

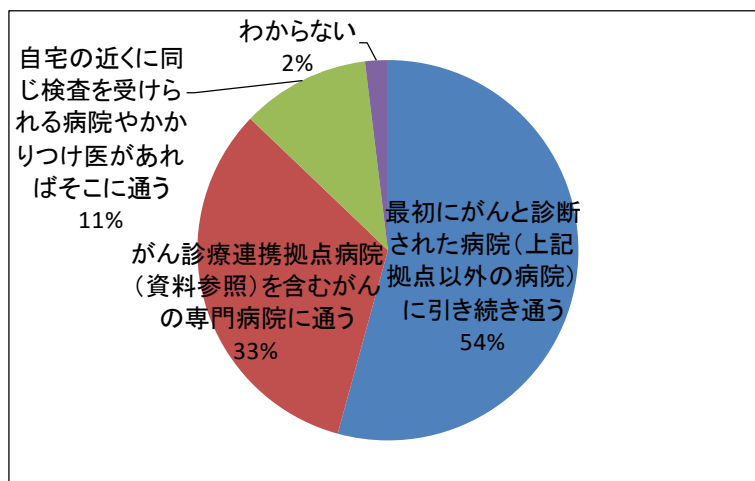
問 11 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」が必要だと思いますか。

(1つだけ)



問 12 治療が一段落し定期的な検査のための通院となった時、あなたは次のどれを選びますか。

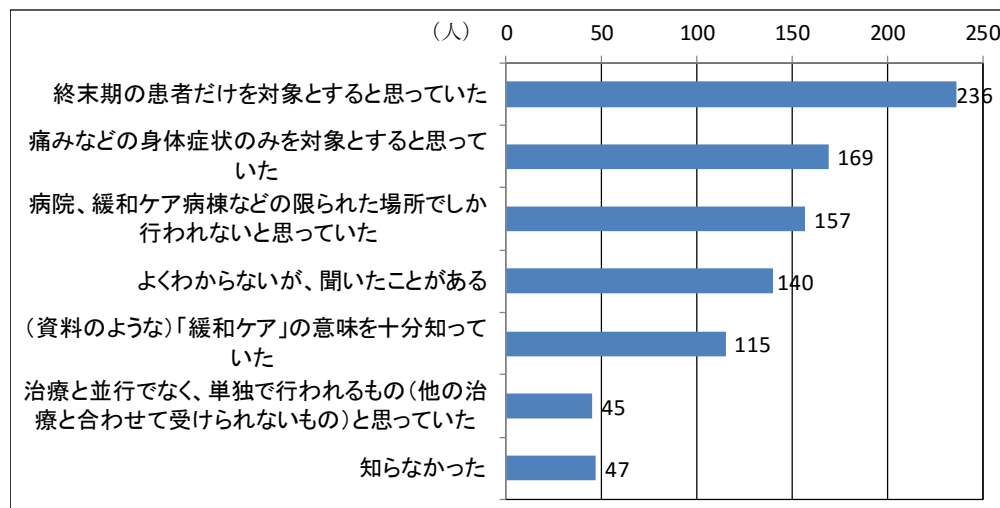
(1つだけ)



(資料)がん診療連携拠点病院とは  
 ○どこの地域に住んでいても、同程度の医療が受けられるよう、がん医療水準の向上と地域格差の解消を目的として、国が一定の要件を満たす医療機関を「がん診療連携拠点病院」として指定したもの  
 ○我が国に多いがん(肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん)に対応

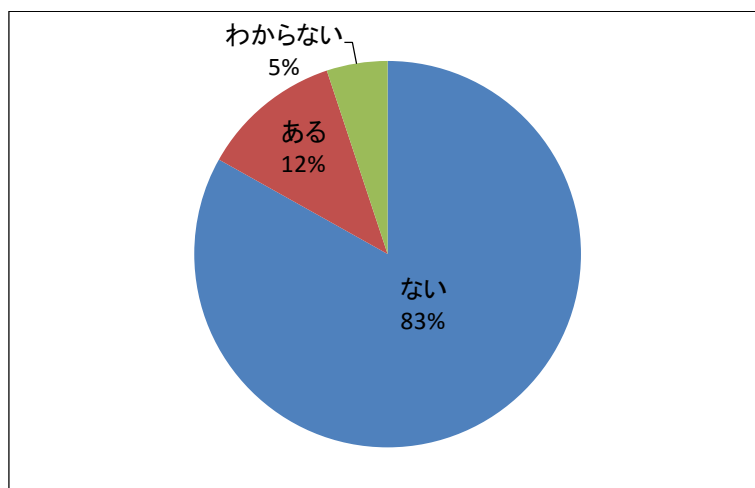
問 13 「緩和ケア」(資料参照)について、あなたにとって当てはまるものはどれですか。

(いくつでも)

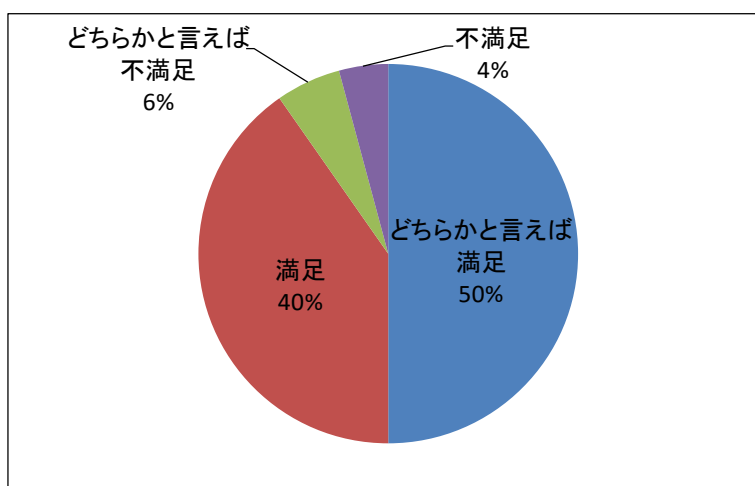


(資料)緩和ケアとは  
 ○生命を脅かす疾患に伴う痛みをはじめとする身体をつらさ、気持ちのつらさ、生きている意味や価値についての疑問、療養場所や医療費のことなど、患者や家族が直面するさまざまな問題に対し援助することによって、クオリティ・オブ・ライフ(QOL:生活の質)を改善するアプローチ。  
 ○病気の時期や治療の場所を問わず、いつでもどこでも提供される必要があるとされている。

問 14-1 あなたは、がんの緩和ケアを受けたことがありますか。(いずれか選択)

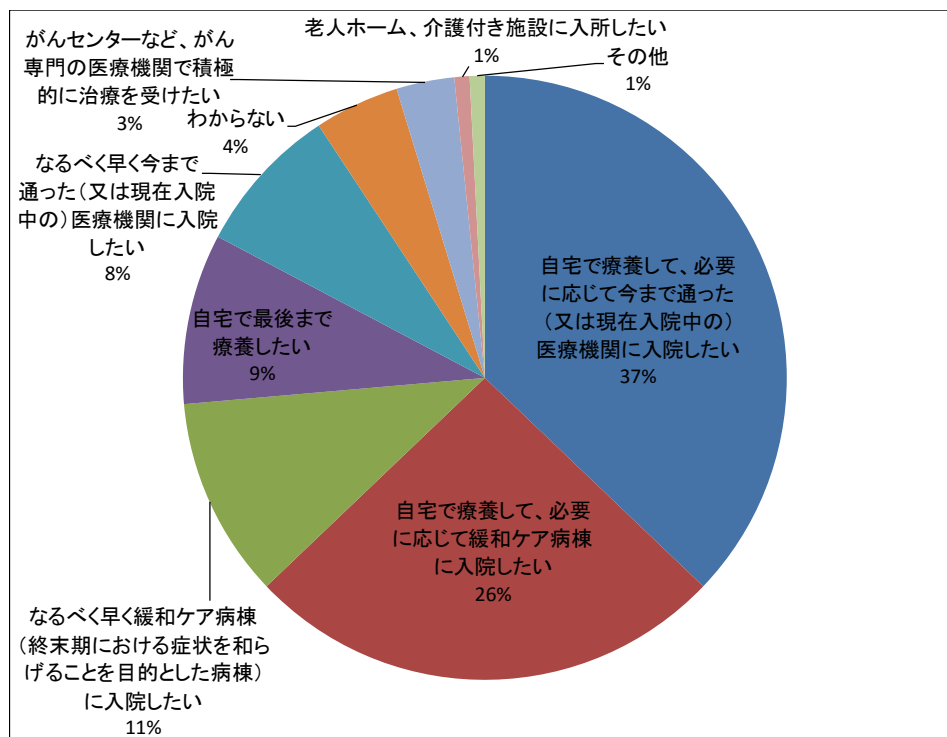


問 14-2 問 14-1 で「がんの緩和ケアを受けたことがある」と答えた方に質問します。提供された緩和ケアは満足いくものですか。(1つだけ)

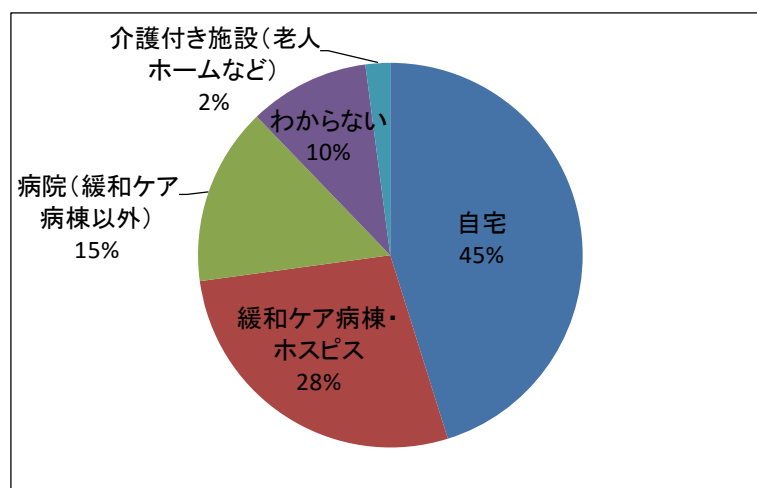




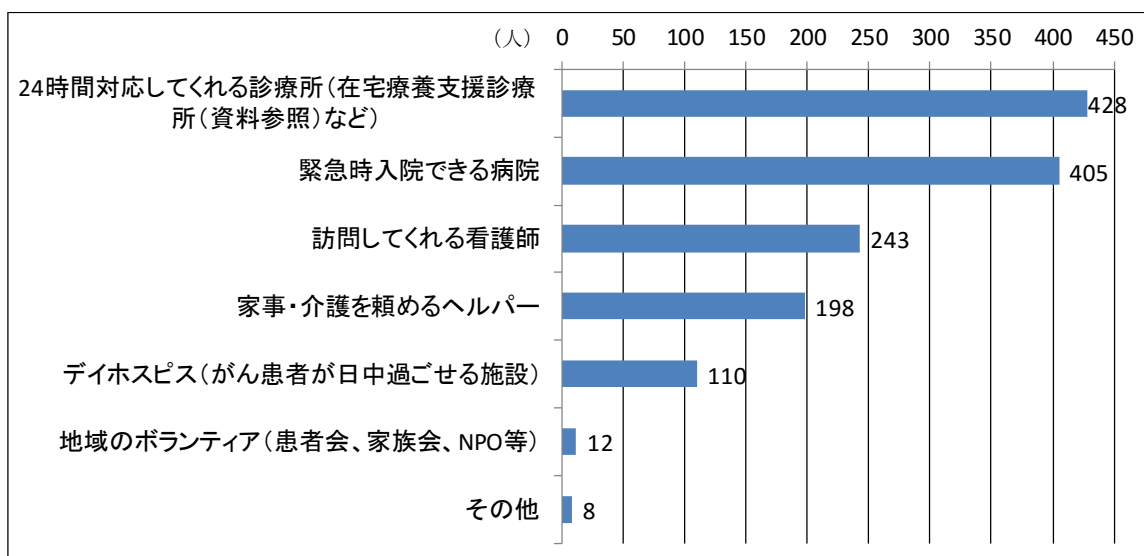
問 15 がんを治すことが難しくなり、あなたの人生の時間が残り少なくなった場合、痛みなどの症状が和らいだ状態で日常生活を送ることができるとしたら、どこで過ごしたいと思いますか。(1つだけ)



問 16 不安な症状や痛みが自宅(施設)においても緩和できるとしたら、どこで最後を迎えたいと思いますか。(1つだけ)



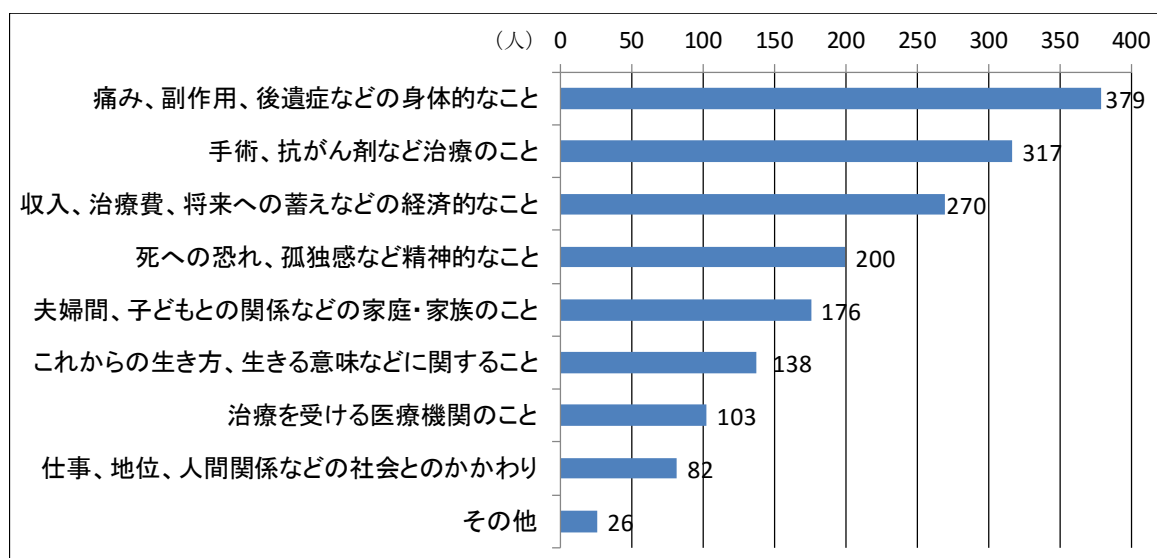
問 17 ご自宅で過ごすことを想定した場合、どのサービスの充実を望みますか。(3つだけ)



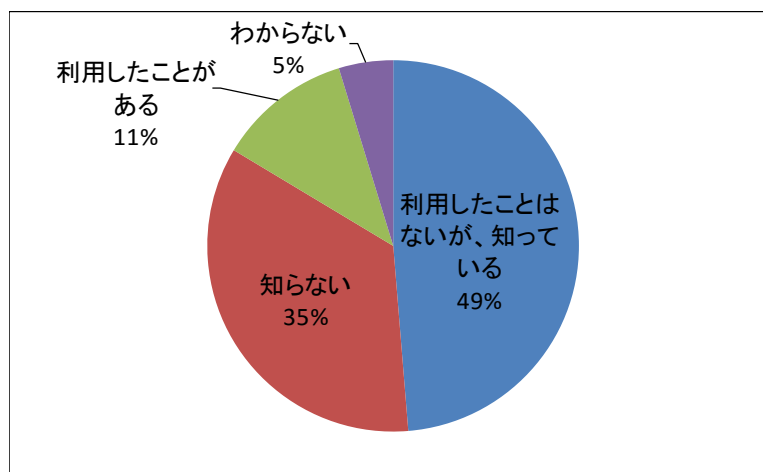
(資料) 在宅療養支援診療所とは

○24時間 365日体制で往診や訪問看護を行う診療所のこと。

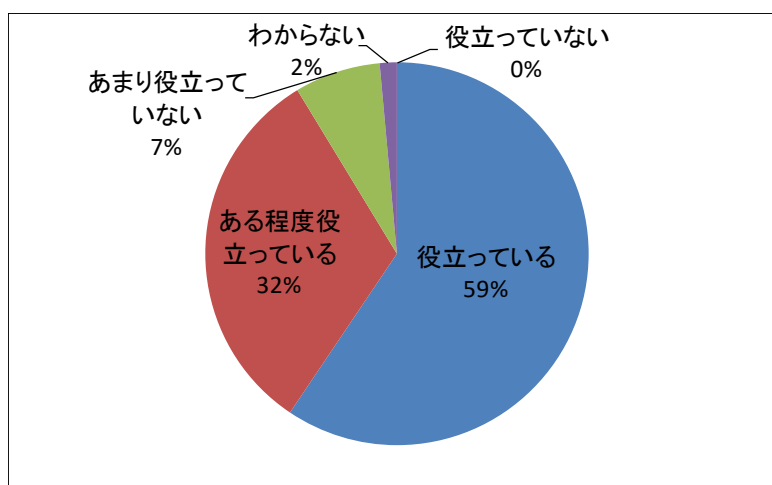
問 18 がんの診断や治療を通して、どのようなことについて悩みましたか。(3つだけ)



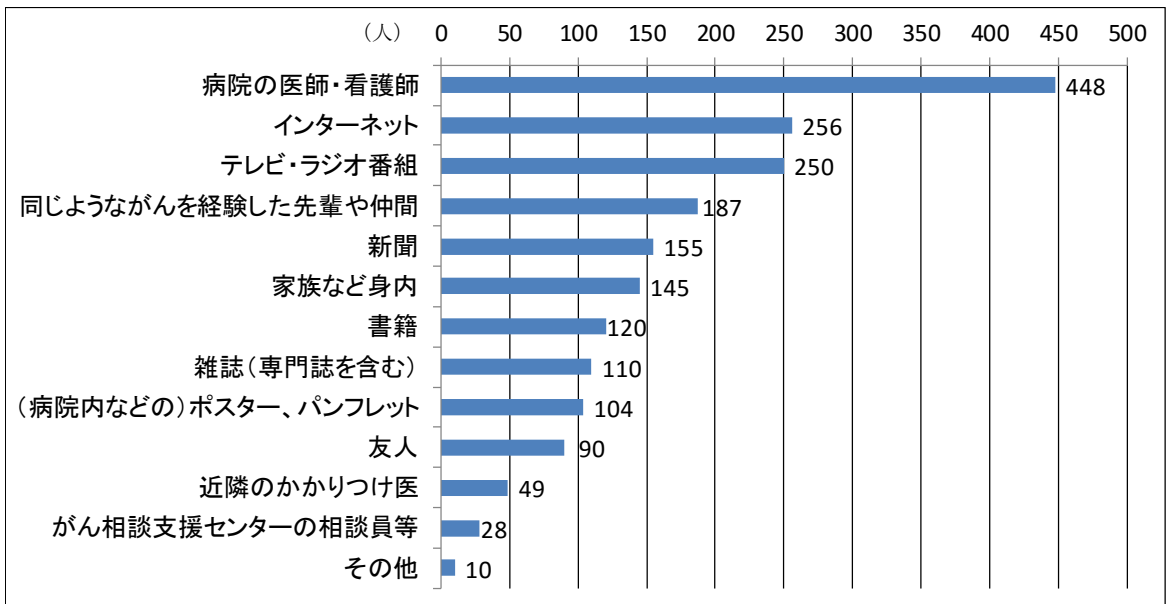
問 19-1 がん診療連携拠点病院に設置されているがん相談支援センターは、がん医療に関する相談、セカンド・オピニオンを受けられる医師の紹介、がん検診に関する情報発信や相談、就労や療養生活に関すること等のがんについての様々な相談を受ける窓口となっていますが、あなたは、がん相談支援センターを利用したことはありますか。(1つだけ)



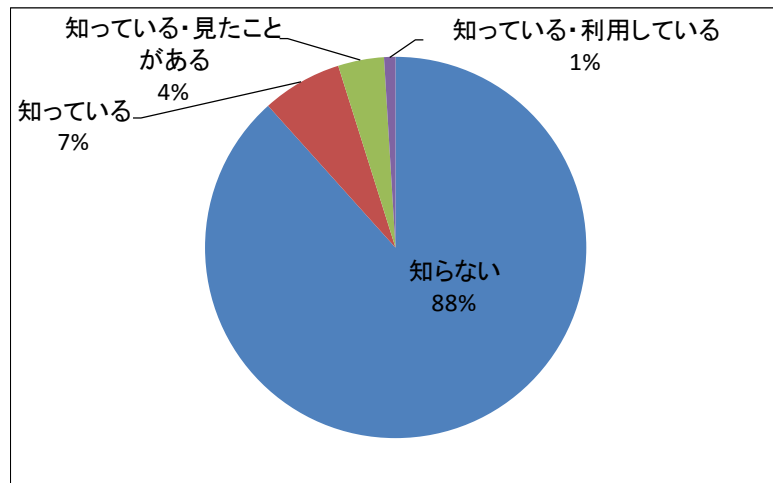
問 19-2 問 19-1 で「利用したことがある」と答えた方に質問します。この「相談支援センター」の取組が、患者への相談支援・情報提供に役立っていると思いますか。(1つだけ)



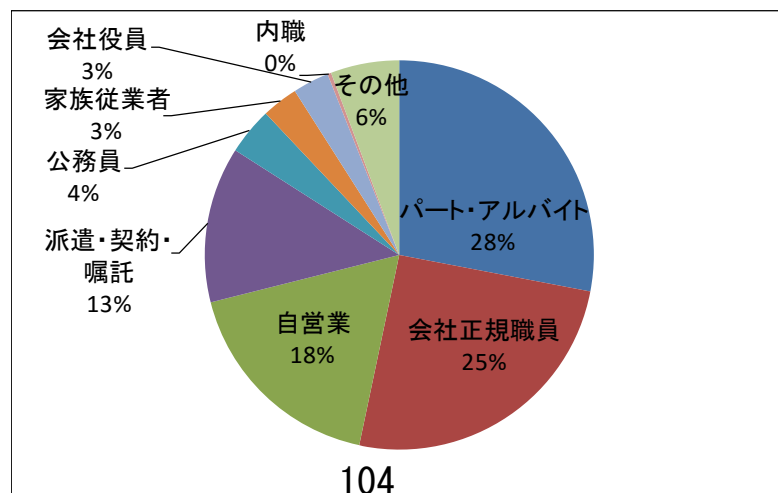
問 20 あなたは、がんに関する情報について、どのようなところから情報を得ていますか。  
(いくつでも)



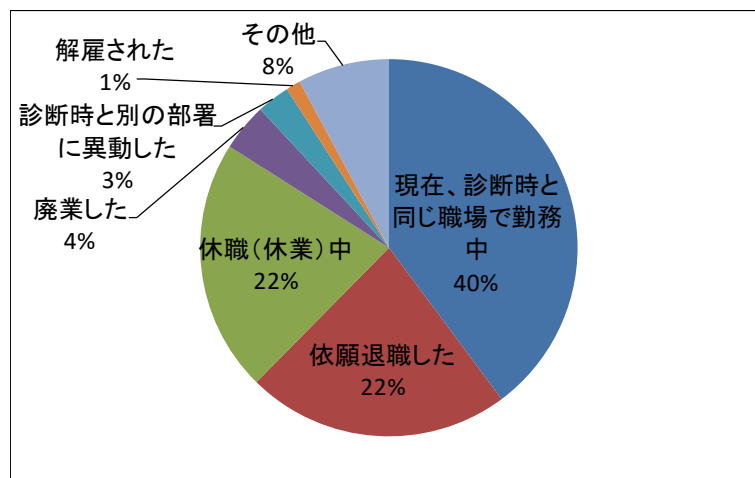
問 21 がん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」ではがんに関する知識や、県内の医療機関や、不安や悩みを相談できる身近な窓口、各種の支援制度などを紹介しています。あなたは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」を知っていますか。(1つだけ)



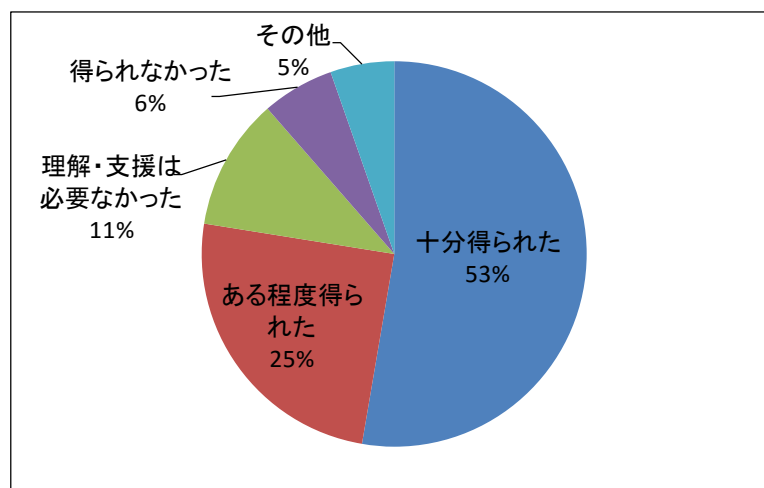
問 22 最初がんと診断された時に、就労されていた方に伺います。あなたの診断時の職業は何ですか。(1つだけ)



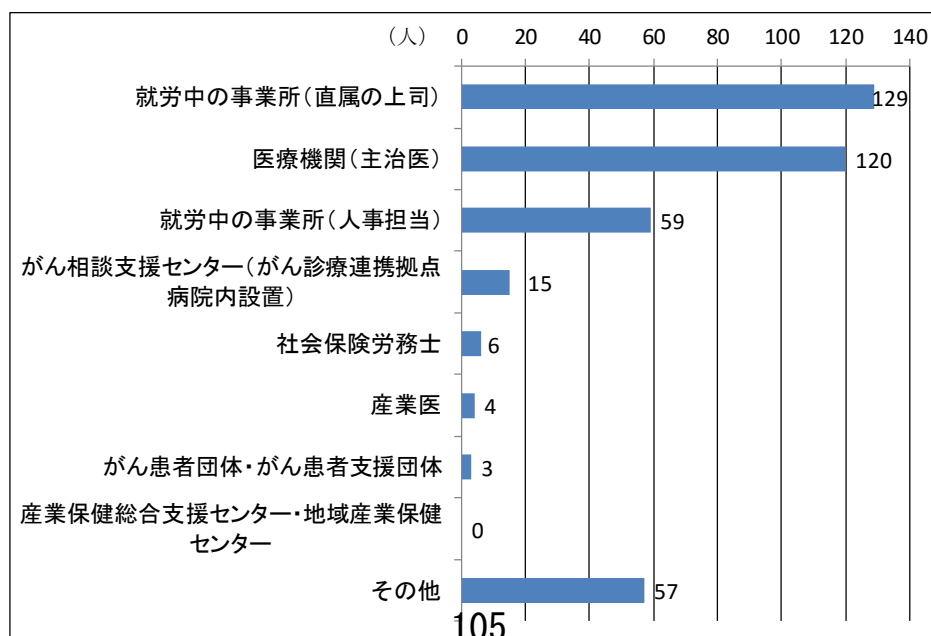
問 23 最初にがんと診断された時に、就労されていた方に伺います。現在、診断時の職場との関係はどのようになっていますか。(1つだけ)



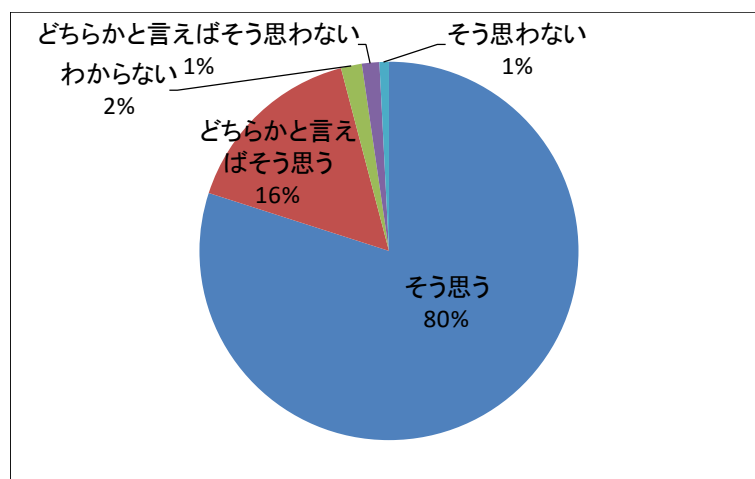
問 24 最初にがんと診断された時に、就労されていた方に伺います。診断時の仕事継続に対する事業主の理解・支援は得られましたか。(1つだけ)



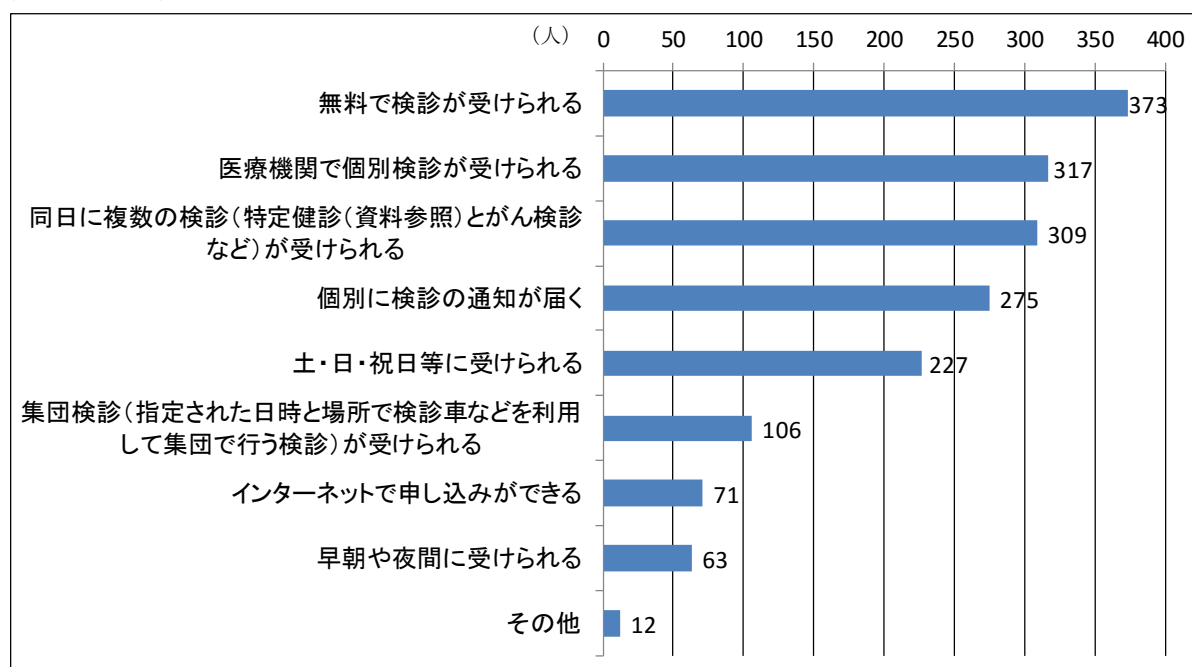
問 25 最初にがんと診断された時に、就労されていた方に伺います。治療と仕事の両立など、就労に関してどこに相談しましたか。(いくつでも)



問 26 がん検診は、がんの早期発見、早期治療につながる重要な検査だと思いますか。(1つだけ)



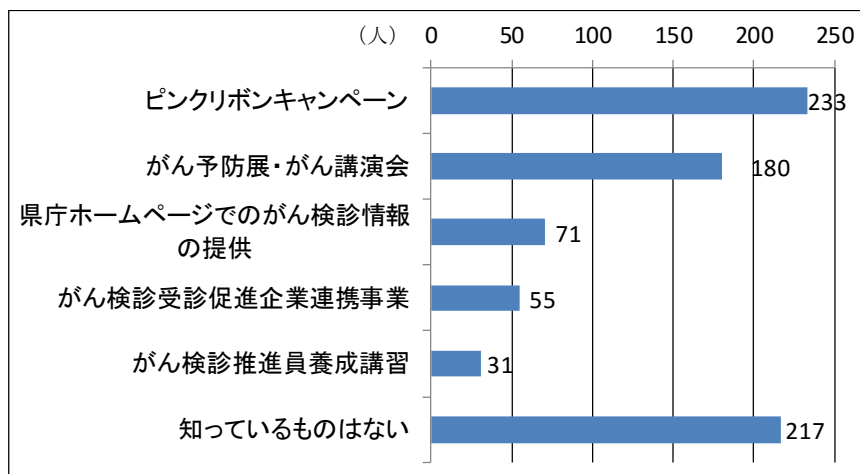
問 27 がん検診を受診する場合、どのようなサービス、システムがあれば受けやすいですか？  
(いくつでも)



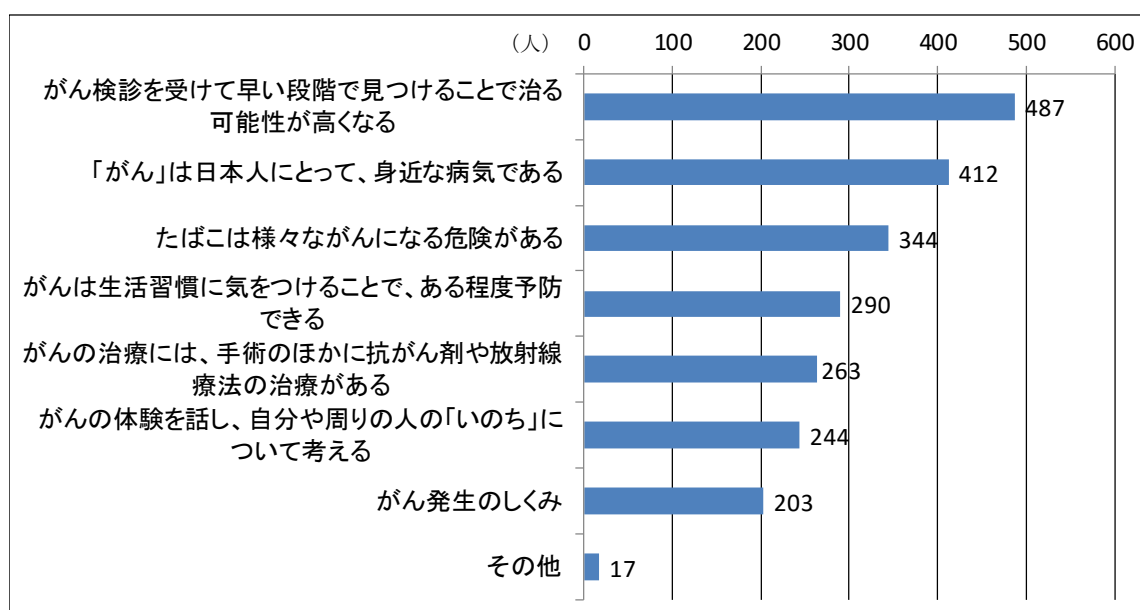
(資料) 特定健診とは

○日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目して行う健診のこと。

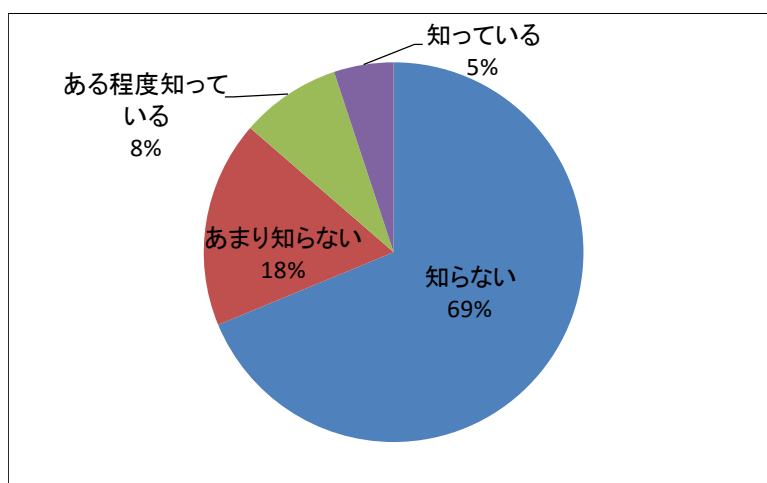
問 28 県では、がん検診の受診率向上を目指して様々な取組を行っていますが、あなたが知っているものは何ですか。(いくつでも)



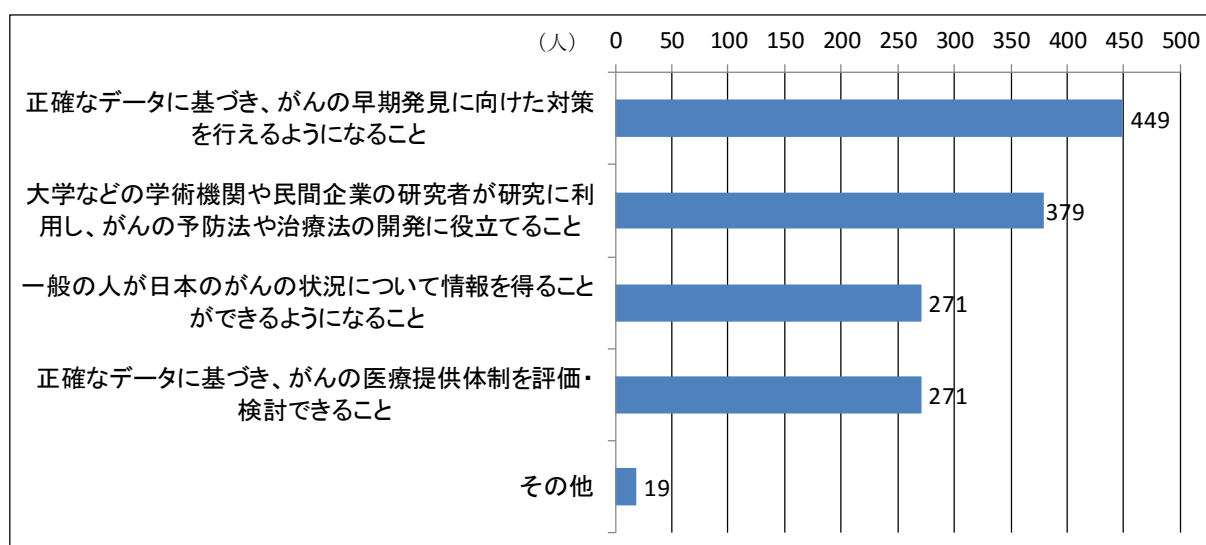
問 29 子どもの頃から、自他の健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい理解を深めるための「がん教育」をあなたが行うとしたら、子どもたちにどのようなことを伝えたいですか。(いくつでも)



問 30-1 日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する「全国がん登録事業」が平成28年1月から始まりましたが、あなたは、このような取組をご存知ですか。(1つだけ)

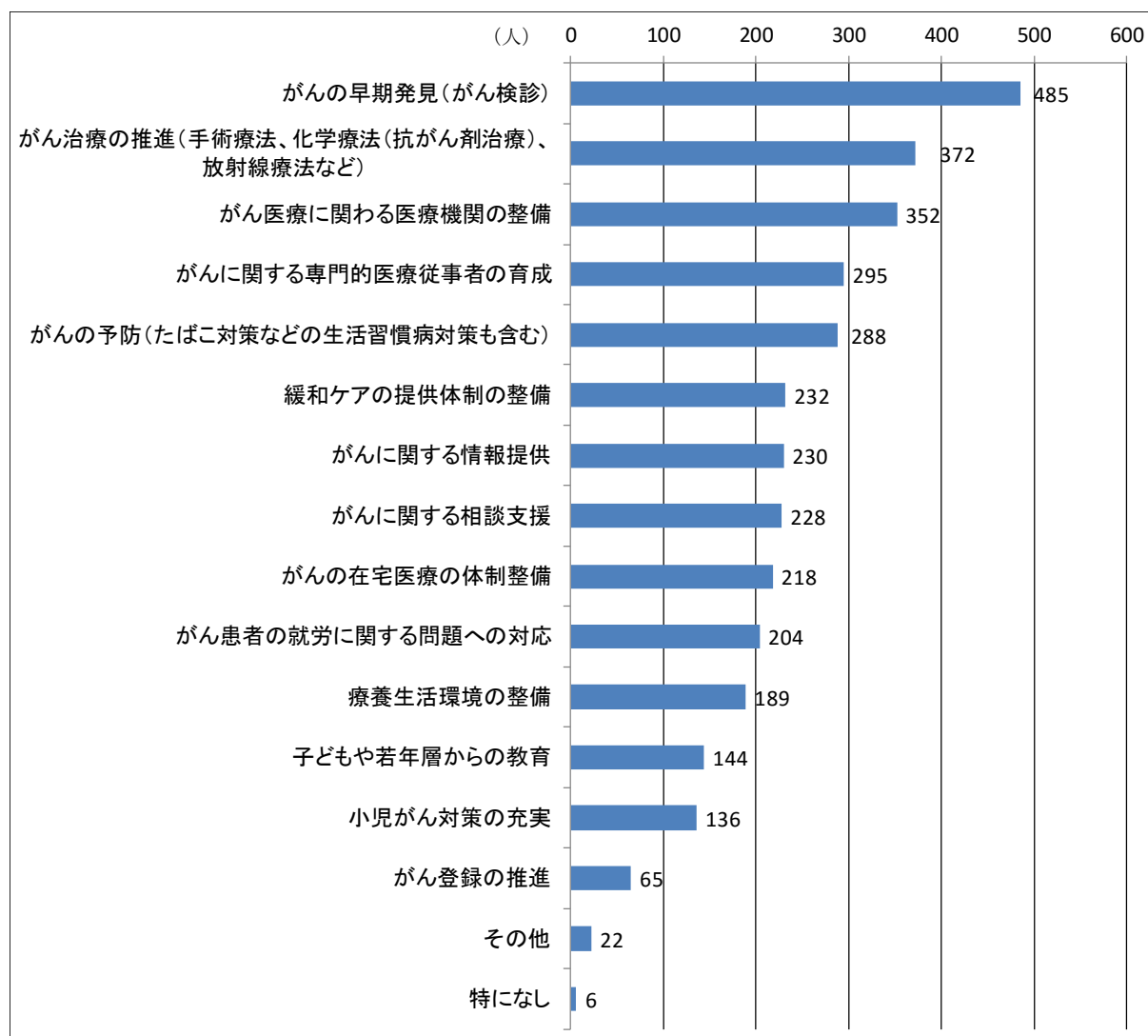


問 30-2 全国がん登録事業によって、がんに関する正確な統計が整備されると、様々なメリットが期待できますが、あなたは何に期待しますか。(いくつでも)





問 31 あなたは、がん対策について、県としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。  
(いくつでも)



問 32 その他、県のがん対策についてのご意見など、自由にご記入ください。

記載あり 136 (21.5%)